

インターンシップ生の就業体験について



令和6年10月2日

9月2日から2週間、大学3年生1名に宇城事業所のインターンシップに参加していただきました。この実習期間に、宇城農地整備事業の業務内容の説明、現地調査、水質調査、植物のモニタリング調査、換地計画原案公表への参加といった業務体験や、土地改良区の方と意見交換を行いました。

現地調査では、工事前後の区画整理の状況を確認しました。工事により整備された給水栓や道路を見ることで、耕作者の将来的な営農に寄与しているだけでなく、車両が通行しやすい環境も整備され、地域の活性化に繋がる本事業の大切さを感じたそうです。

水質調査や植物のモニタリング調査では、測定結果や調査結果の考察について専門家と意見交換をしました。生態系への影響を確認する調査の重要性や、水質基準に基づいて環境配慮が行われていることを学んでもらいました。

換地計画原案公表では、所有者に説明する場に立ち会い、所有者の生の声を聞いてもらいました。大学で事前に換地について学んでいたそうですが、所有者の事業への思いを知ってもらう良い機会になりました。

松橋町外一ヶ町土地改良区との意見交換では、今後大学の授業で学ぶとのことで積極的に質問をしていました。主に農業水利施設の維持管理及び更新や、組合員に納付義務がある賦課金の徴収を行っているということや、農家の後継者不足で悩まれているという現状を知ってもらいました。

短い期間でしたが、学生はより一層、農地整備事業について理解を深めることができ、当事業所職員は学生からの新たな視点や考えを得ることができ、とても有意義な時間となりました。



水質調査



植物のモニタリング調査



換地計画原案公表



土地改良区との意見交換